

令和 7 年 3 月 25 日
令和 6 年度第 3 回
荒川区子ども・子育て会議

荒川区子ども・若者総合計画（素案）に対する パブリックコメント等の実施結果

荒川区子ども・若者総合計画（素案）について、パブリックコメントを実施したほか、子ども基本法に基づき、子どもの意見を聴き、計画に反映するため、区立小・中学校の子どもからも意見聴取を行いました。

（１）荒川区子ども・若者総合計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果

募集期間

令和 6 年 1 2 月 1 1 日（水）～ 1 2 月 2 7 日（金） 計 1 7 日間

実施方法

荒川区子ども・若者総合計画（素案）について、区ホームページ、令和 6 年 1 2 月 1 1 日発行の区報や SNS（Facebook、X（旧 Twitter）、LINE）のほか、小・中学校や高校、幼稚園・保育園や民生・児童委員等の子どもの支援に関わる団体への周知を行いました。

意見は、持参、郵送、FAX、電子メールおよび区ホームページにて受け付けました。

提出意見数

提出意見数 4 6 件（人数 2 1 名）

提出意見数		合計	内 訳				
			窓口	郵送	FAX	メール	区HP
全 体		2 1	1	6	0	5	9
内 訳	子ども （ 0 歳 ～ 1 7 歳 ）	1	0	0	0	0	1
	若者 （ 1 8 歳 ～ 3 9 歳 ）	6	0	0	0	0	6
	4 0 歳 以上	1 3	1	6	0	4	2

提出者のうち 1 名の年齢が不明であったため全体と内訳の合計で異なる箇所があります。

意見の概要

意見の種類		件数
素案に賛成・賛同する		3
計画全般に関する意見		2
計画の具体的な内容に関する意見	地域資源を活用したイベントに関すること	1
	多様性に関すること	5
	子どもの権利擁護に関すること	3
	出産・子育て支援に関すること	4
	保育施設等に関すること	5
	公園・道路等に関すること	2
	ひとり親家庭に関すること	1
	課題等を抱える子ども・若者への支援に関すること	6
その他		14
合 計		46

意見の取扱い

意見の取扱い	件数
新たに計画へ意見を反映する	6
既に計画に記載している	12
意見・要望として今後の参考にする	28
合 計	46

意見の概要および意見に対する区の考え方

< 計画への反映について >

：新たに計画へ意見を反映する

：既に計画に記載

- ：ご意見・ご要望として今後の参考にする

< 素案に賛成・賛同する >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	ニーズ調査結果から、荒川区の子育てに関して多様なエビデンスデータが明らかになっている。 それをベースに基本理念を定め、4つの基本目標が設定されていることで、とても納得感のある内容になっている。 未来を担う子どもたちの育ちを支える行政の仕事に誇りを持ってこれからも頑張ってもらいたい。	これまでも区では、区民の皆様が安心して過ごせるよう、さまざまな子どもやその家族等を支援する取組を行ってまいりました。いただいた区への期待に応えられるよう、引き続き、皆様に寄り添いながら取組を推進してまいります。	-	-
2	子どもだけでなく保護者に対してのさまざまな利用しやすい支援事業を実施していただき感謝する。利用しやすい事業によって温かい家庭が増え、荒川区に住んでいて良かったと思えるようになると思う。引き続き、子育て支援の強化を期待したい。			
3	現状が表やグラフによって記載されており、分かりやすい。それを見ることで課題などが分かり、今後の取組や施策が見えてくる。			

< 計画全般に関する意見 >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	子ども・若者総合計画全体に対しての具体的な予算額を計画に明記してほしい。	子ども・若者総合計画は、令和7年度から令和11年度まで5年間の計画となっており、全体の予算額を提示することは難しいですが、計画に掲載されている各事業も含めた区全体の予算につきましては、区報や区ホームページ等でご確認いただくことができます。	-	-
2	P D C A サイクルに基づいて定期的に実施状況を点検・評価することについて、より具体的に記載してほしい。	いただいたご意見を踏まえ、計画第6章第2節「計画の点検・評価の実施」の文言を修正しました。		230

< 地域資源を活用したイベントに関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	公園を活用した子どもが自然と触れ合うことのできるイベントを充実させてほしい。	荒川自然公園や宮前公園では、落葉やどんぐりなどを利用したワークショップなど、身近な場所で自然に触れ合うイベントを開催しています。今後も、公園を活用した事業を充実させるとともに、事業の周知方法について検討を進めてまいります。	-	-

< 多様性に関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	L G B T Qを学校で学ぶ機会をつくってほしい。	東京都教育委員会が作成する人権教育プログラムには「性自認」「性的指向」について示されており、各学校では、その人権教育プログラムを基に、さまざまな人権課題について計画的に学習を進めています。最近では、L G B T Qの当事者や専門家を学校に招き、ゲストティーチャーとして児童生徒に話をする機会を設けるなど、L G B T Qについての理解を深める機会を作っています。	-	-
2	L G B T Qや障がいのある方など、多様性について子どものうちから学べるよう学校教育に取り入れてほしい。	東京都教育委員会が作成する人権教育プログラムには「性自認」「性的指向」について示されており、各学校では、その人権教育プログラムを基に、さまざまな人権課題について計画的に学習を進めています。区では東京都教育委員会の指定を受けた人権尊重教育推進校が研究授業等を通して、L G B T Qや障がいのある方への理解を深めるため、子どもたちへの指導方法等の工夫・改善を行いながら、区内外の学校に向けて研究の成果を発表し、人権教育の推進に努めています。	-	-
3	ふれあい館事業（乳幼児対象）について、聴覚障がいを持つ子どもでも参加できるように、手話によるふれあいの機会があるとよい。	区では、あらゆる世代の区民が交流し、自主的な活動ができる地域コミュニティ施設として「ふれあい館」を管理運営しております。聴覚障がいのある方も参加できるような事業について、いただいたご意見について、可能な限り反映させてまいります。	-	-

4	<p>さまざまな背景を持つ子ども・若者に対して、インクルーシブな環境を提供するための施策が必要である。多文化共生や障がい者支援に関するプログラムの充実を図り、誰もが参加できる社会を目指してほしい。</p>	<p>区ではこれまでも、東京藝術大学音楽学部と連携した、未就学児とその保護者を対象とした親子コンサートの開催や、聞こえる人も聞こえない人も楽しめる手話言語条例制定記念イベントの実施など、障がいの有無などに関わらず、誰もが参加しやすい施策等を実施してまいりました。また、国際交流事業を通じた異文化交流の促進も図ってまいりました。</p> <p>さらなるインクルージョンの推進に向け、今後ともさまざまな背景を持つ子どもや若者が気軽に参加でき、楽しむことができるイベント等の充実を図り、多様性への理解を深めてまいります。</p>	-	-
5	<p>特に日暮里地域では日本語学校も多く、外国人が急増していると実感しており、日本語の習得に悩んでいる子どももいる。また、災害時の外国人学生への支援なども必要であり、外国語を母語とする子どもへの支援計画をつくるべきと考える。</p>	<p>区では、ハートフル日本語適応指導事業として、各区立小中学校・幼稚園等に在籍する日本語指導が必要な子どもに対し日本語の初期指導等を行い、学校生活や社会生活にスムーズに適応できるよう支援しております。</p> <p>また地域防災計画において、外国人に対する防災意識の普及・啓発や、避難者への支援体制の構築等について定め、災害時の外国人支援対策を進めています。</p>		128

<子どもの権利擁護に関すること>

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	保育の現場や学校で働く先生に 子どもの権利について学ぶ機会 をつくってほしい。	区では、リーフレットやパネル 展、区報や区ホームページ、S N Sなどのさまざまな方法で子ど もの権利についての周知を行っ ております。今後も、講演会等の 開催や研修への支援等により、保 育士や教職員の皆様にも子ども の権利について学んでいただく 機会を創出してまいります。		1 2 9
2	令和5年度に子どもの権利条例 が施行されたことに伴い、子ども の最善の利益を追求するという 観点から、子どもの権利を尊重し た学校環境の整備を行う施策が 必要ではないか。具体的には、子 どもの権利に関する教職員への 研修、自治的な活動を通して子ど もの声に応えていく学校づくり などが必要であるとする。	区においても、子どもの最善の利 益を追求するという観点から、子 どもの権利を尊重した学校環境 の整備は重要であると考えてい ます。「荒川区子どもの権利条例」 の制定に伴い、令和6年度には、 荒川区の全区立幼稚園、全区立 小・中学校の教員を対象に子ども の権利に関する講演を行い、全教 員が子どもの権利に関する理解 を深めました。今後とも機会を捉 え、本条例への教職員の理解を促 進することで、よりよい学校づく りに反映してまいります。		1 2 9
3	子どもの声を区政に生かす取組 を充実してほしい。 具体的には、「荒川区子ども議会」 について、各学校の生徒会等と連 携して生徒からの提案や対話を 行う場にし、行われた議論を教育 委員会等において、区政や学校環 境に反映することを検討する機 会を作ってはどうか。また、「子ど もの意見聴取の推進」について、 子どもの意見聴取の方法等をま とめた実践的な手引きを子ども とその保護者、学校等向けに作成 し、公開してはどうか。	子ども議会については、これまで 区と教育委員会、学校で、時期や 方法等を調整し、開催してまいり ました。今後はいただいたご意見 や子ども議員からのアンケート、 他の自治体の開催事例なども参 考にしながら、どのような形で開 催するのがより効果的なのか検 討を進めてまいります。 また、子どもの意見聴取における 手引きの作成については、いただ いたご意見や他自治体の取組も 参考としながら、効果的な意見聴 取の方法を検討していきます。	-	-

< 出産・子育て支援に関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	地域子育て支援拠点事業について、利用者が自分の子どもとの関わり方を学ぶ機会としてとてもよい事業である。子育て中の保護者が気持ちのリフレッシュができると子どもとの向き合い方が変わると思う。	地域子育て支援拠点事業は、在宅育児家庭の親子同士が地域で交流しながら、安心して子育てできる環境づくりに大きく寄与する取組であると区も認識しております。引き続き、質の高い地域子育て支援拠点事業を運営できるよう努めてまいります。		157
2	女性が出産に前向きになれるよう、病院と連携しながら出産できる環境をよりよくするための具体的支援を行ってほしい。	区では妊娠中の皆様が安心して出産を迎え、子育てができるように、助産師または保健師による「ゆりかご面接(妊婦面接)」を行っており、その中で無痛分娩や産後ケアなど出産病院に関する情報提供をしています。 今後も、妊娠前や妊娠中の方が、出産や子育てに関する知識や情報を入手し、不安なく子育てに臨めるよう、社会的資源等の情報周知方法を拡充するなど、引き続き、必要な支援を積極的に行ってまいります。		144 ・ 146 ・ 147

3	産後ケア事業について、利用施設の多くが区外にある。また、区内施設を利用しようと問い合わせた際に対応が悪く、利用を諦めた。利用施設の実態の把握をしてもらうとともに、区民の利便性の向上につながる取組をしてほしい。	産後ケア事業につきましては、事業の趣旨から、利用者およびお子さんの安全性の確保に十分配慮する必要があることから、国のガイドラインにのっとった内容で実施が可能な施設等に委託しています。 お問い合わせいただいた際の対応については、区として指導し、ご利用いただきやすい環境づくりに努めてまいります。また、今後の実施場所の拡充に関しましては、区外も含め、利用者の利便性を加味しながら新規開拓に取り組んでいきます。 また、施設等の実態把握につきましては、毎年度事業の実施状況を書面で確認するとともに、随時施設等の視察等により行っておりますが、今後も、利用者や対象となる方々の意見を聞く機会を増やすなど、実態把握に努めてまいります。		145
4	地域子育て支援事業（親子ふれあい入浴）について、区内の小学校に通う子どもを対象にしていると聞いているが、障がいがあることを理由に区外の小学校に通わざるをえない子どもについても対象になるようにしてほしい。	地域子育て支援事業（親子ふれあい入浴）の入浴券配布につきましては、障がいの有無に関わらず、荒川区民であれば区外の学校に通っている小・中学生も対象となっておりますので、親子のふれあいの機会としてぜひご活用ください。		160

< 保育施設等に関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	保育園民営化に反対である。保育の質を向上させるために現場で働く保育士の環境改善に力を入れてほしい。	区立保育園については、地域の核となる拠点園以外の区立保育園を順次民営化し、民営化により得られる財源や人材を活用して拠点園の機能強化を図るなど、多様化する保育ニーズに対応する体制を整備していく予定としています。 合わせて、国や都の施策を活用した保育士の処遇改善に取り組んでいるほか、区独自に奨学金制度を設けるなど、保育士の環境改善を図っています。また、区内保育士を対象とした研修、保育園相互の見学など学びの機会を確保することで区内の保育の質の向上に取り組んでいます。	-	-
2	マンションの増加などにより区内移住者が増え、近隣の保育園の入園倍率が上がった。保育園の入園審査において、区の在住歴が長い方が優先的に受かりやすくなるような仕組みとなるよう見直しをしてほしい。	保育園入園の利用調整に当たり、同一指数・同一優先順位となった際、荒川区の在住歴が長い方を優先する措置を行っています。	-	-

3	<p>保育園において、オムツのサブスクの導入や保護者が手作りで布団カバーを作ることの廃止など保育園利用者のニーズを踏まえた取組をしてほしい。</p>	<p>オムツのサブスクについては、保護者がオムツを園へ持ち込まずに、保育園において利用でき、保護者の負担軽減の観点からメリットがあることは認識しております。一方、園児の利用枚数によっては保護者の経済的負担が増える可能性もあるほか、各保育園における発注や在庫管理などの業務増も懸念されます。今後も他区や区内保育園の状況などを注視しつつ、利用者のニーズに応じた対応を検討してまいります。</p> <p>また、保育園の布団カバーなどの保護者への負担についても、利用者のニーズや各保育園の状況等を踏まえ、保育園における限られたスペースの中でコットの収納が可能であれば、順次切り替えるなど、負担軽減への取組を検討してまいります。</p>	-	-
---	--	---	---	---

4	<p>保育の質の確保と向上のため、区が（仮称）「あらかわの子ども姿」を策定し、各保育園が子どもの育ちのイメージを共有できるようにしてほしい。</p>	<p>区では平成28年3月に、区内すべての保育・教育施設で子どもたちの育ちを保障するために「荒川区就学前教育プログラム」を策定しました。区内すべての保育者と小学校に本プログラムを配布し、区内の保育従事者を対象にプログラム活用についての研修を行うとともに、公立園における保育実地見学会等の実施や理念の共有により、保育の質の向上に努めているところです。本プログラムについては、この間の保育を取り巻く状況の変化などを踏まえ、令和7年度に本格的な改訂を予定しています。この改訂に合わせ、改めて区内すべての保育施設が本プログラムの内容を学び、共通の認識の下で保育の質の確保と向上に取り組む機会を設けてまいります。</p>	-	-
5	<p>1歳児から11時間保育を利用する子どもが増加しており、安心して保育園を利用できる環境を整備するため、補助員を含む人員体制の確保をお願いしたい。</p>	<p>区では保育標準時間、延長保育実施にあたってそれぞれ補助金を支出しており、これらの経費を活用して必要な体制を確保するよう努めております。補助金については、引き続き、国や都、他自治体の状況も踏まえ検討してまいります。</p>	-	-

< 公園・道路等に関する事 >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	都電沿いの歩道を広げてほしい。	都電通りは、東京都が整備している都市計画道路です。現在、荒川遊園通りから西側の都電通りについて東京都が拡幅整備のための用地取得を推進しており、拡幅整備後は都電通りの南側の白線で区画されている路側帯が、車道と明確に区分された幅員 2.5 メートルの歩道として、都電通りの北側は幅員 2.5 ～ 5.5 メートルの歩道として整備されることになります。区といたしましては、早期の整備を東京都に対して働きかけてまいります。	-	-
2	あらかわ遊園や公園などで歩きたばこをしている人がいるので、厳密に対処するなど、歩きたばこへの対応を強化してほしい。	あらかわ遊園や公園における喫煙は、全面禁煙としており、禁煙に関する掲示物の設置や巡回などを実施しています。また、施設周辺の路上においても、啓発指導員およびパトロールカーによる巡回指導により喫煙マナーの向上を図っています。今後も、より効果的な喫煙への対応を実施してまいります。		162

< ひとり親家庭に関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	ひとり親家庭の貧困対策に力を入れてほしい。	区ではひとり親家庭の暮らしの悩み等の相談を受け、問題解決のお手伝いをすることや、安定した収入が得られるよう、仕事探しや資格取得についての支援、育児や家事を援助するためのヘルパー派遣の実施など、それぞれの家庭の状況に応じて、支援策を組み合わせながら、ひとり親家庭の支援を行っております。また、ひとり親家庭の生活の不安の軽減につながるよう、ひとり親家庭を対象としたフードパントリーを実施している団体に対し、食材費の補助を行うとともに、フードパントリーの会場に区の職員が出向き、個別相談を受け付けております。今後も、ひとり親家庭への支援策の充実について検討してまいります。		182 ・ 183 ・ 184

< 課題等を抱える子ども・若者への支援に関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	子どもや若者のメンタルヘルスに対する支援が不可欠である。カウンセリングサービスや心の健康に関する啓発活動を強化し、早期発見・早期対応ができる体制を整えることが重要ではないか。	<p>子どもや若者からの相談を受けたときには、関係機関との連携や、専門医による精神保健相談等も活用し、こころの病気の早期発見、早期治療できる体制づくりを進めてまいります。そして、こころの病気やS Sのサインを見逃さないように、子どもから大人まで参加出来る講演会を実施し、メンタルヘルスについても広く普及啓発しています。</p> <p>また、区では、若者が抱えるさまざまな悩みの相談を受け、適切な支援機関につなげる相談窓口「わっか」を開設しております。今後も、同事業の周知や、気軽にご相談いただける環境づくりにより、メンタルヘルスへの支援を必要とする若者の早期発見・早期対応が可能な体制づくりを整備してまいります。</p>		<p>1 4 7 ・ 1 9 8 ・ 2 0 3 ・ 2 0 5 ・ 2 0 7</p>
2	学校に配置するスクールソーシャルワーカーについて、令和7年度からの増員にあたり、人材の確保と育成をお願いしたい。	<p>スクールソーシャルワーカーの人材の確保については、ハローワークへの求人広告掲載や、関係機関等への求人周知を早期に行いつつ、区ホームページでも公募を行い、子どもたちに寄り添えるスクールソーシャルワーカーを採用したいと考えております。</p> <p>また、専門知識や経験が豊富な福祉分野等の専門家をスーパーバイザーとして招き、計画的に研修会等を実施しながら、スクールソーシャルワーカー全体の質の向上を図ってまいります。</p>		<p>1 3 6 ・ 1 7 0 ・ 1 7 1</p>

3	<p>不登校児童・生徒の保護者はスクールカウンセラーに相談しながら解決方法を探している。「あらかわひきこもり支援ステーション」について学校への周知を強化するなど関係機関同士が連携しながらひきこもり対策を行ってほしい。</p>	<p>あらかわひきこもりステーションはひきこもりの当事者やその家族等からの相談に対し、専門の相談員がそれぞれが抱える課題を解きほぐしながら必要な支援機関につなげるコーディネート機能をその大きな役割としています。その中で当事者が就学期の場合には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談を行う教育センターや児童相談所の機能を持つ子ども家庭総合センターと連携することにより、当事者やその家族等の要望や状況等を勘案した最も適切な支援を行うことができる体制を構築しているところです。引き続き、学校への周知や関係機関相互の連携・協力体制の下、総合的なひきこもり対策に取り組んでいきます。</p>		171
4	<p>不登校児童・生徒が自宅以外で過ごせる場所が多くあるのはとてもよい。引き続き、他自治体を参考にしながら、多種多様な居場所づくりを進めてほしい。</p>	<p>区内には、カフェや鮮魚店などの地域の店舗のご協力により実施している子ども食堂や、スポーツイベントに参加する子どもの居場所など、多種多様な子ども食堂および子どもの居場所があります。また、不登校児童・生徒がインターネット上の仮想空間を利用する取組も行っております。今後も、他の自治体の取組を参考にしながら、居場所づくり事業を進めてまいります。</p>		177 ・ 178

5	<p>不登校の子どもの支援に関して、不登校初期段階の子どもやその保護者に対する支援が位置づけられていないように思う。「不登校支援ガイドライン」にある不登校の子どもや保護者への支援事業を計画に位置づけつつ、子どもの相談機関となる事業について検討してほしい。</p>	<p>不登校初期段階の子どもやその保護者に対する支援を含め、不登校児童・生徒やその保護者への支援につきましては、「不登校支援ガイドライン」に位置づけて適切に実施しているところです。</p> <p>また今後も、「荒川区学校教育ビジョン」の推進目標等にのっとり、学校や地域、関係機関とも十分な連携を取りつつ、いただいたご意見も参考とさせていただきながら、課題解決に取り組んでまいります。</p>	-	-
6	<p>P 1 7 9 に記載の「学習支援事業（学びサポートあらかわ）」について、どのような点で支援が必要な子どもを対象としているのか、明確でないように思われる。</p> <p>「支援が必要な子ども」の前に、具体的に「学力向上」や「生活の支援」等の文言を入れてはどうか。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、「学習支援事業（学びサポートあらかわ）」において、支援が必要な子どもについて、具体的な文言を記載することといたしました。</p>		1 7 9

< その他 >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	「子ども・若者ビジョン」における若者の定義（中学生から施策によっては、40歳未満まで）に合わせて、「わかもの就労サポートデスク」の対象年齢を44歳以下から39歳以下に見直しをしてほしい。	わかもの就労サポートデスクの対象年齢については、開設当初は40歳までの方を対象としておりました。しかし、30代半ばから40代半ばのいわゆる就職氷河期世代の多くが非正規雇用で働いているという状況であり、こうした世代に対してもきめ細かくに支援していく必要があることから、令和2年度から就職氷河期世代を含めた概ね44歳以下に対象年齢を拡大しました。	-	-
2	第4章第2節のニーズ調査結果について、グラフの縮尺をそろえてほしい。	いただいたご意見を踏まえ、できる限りグラフの縮尺を揃え、体裁を整えましたが、見やすさを優先させるために従来通りの表記とさせていただいている箇所もあります。		64 ～ 109
3	さまざまな立場の子どもの不安や悩みに対して、大学生世代の若者が相談を受け、非行防止につなげられるようなBBS（青年ボランティア団体）の組織が荒川区内にできたら、相談場所をゆいの森あらかわに設けたらどうか。	いただいたご意見を踏まえ、今後BBSの活動場所等のご相談があった場合は、区として対応を検討してまいります。	-	-
4	産後体調を崩していたが、荒川区の子育て支援のおかげで、助かったので感謝している。	これまでも区では、区民の皆様が安心して過ごせるよう、さまざまな子育て支援の取組を行ってまいりました。 引き続き、皆様に寄り添いながら取組を推進してまいります。	-	-

5	日本は、性教育後進国と言われていることもあり、 子どもの性教育について力を入れてほしい。	区では、各区立小中学校・幼稚園等での授業や保育園での実践事例集の全園周知等により、生命（いのち）の安全教育を行っています。また、一部の中学校でエイズ予防の講演等を行う等性教育の充実を進めているほか、保育士向けの「子どもの人権」をテーマとした研修の実施等により、性的虐待を含めた不適切保育の防止につなげています。今後も、子ども一人ひとりが自分の体や生命（いのち）を大切にしようとする気持ちを育てるとともに、性教育の充実を図ってまいります。	-	-
6	子どもの性虐待の報道もあり、文部科学省も命の安全教育を推奨していることから、幼児期からの性教育を地域ぐるみで推進することについて、計画に盛り込むべきと考える。			
7	義務教育無償化のために、学用品を無償化してほしい。	区では、東京都の制度を活用し、学校給食の無償化を行っています。また、区立学校における学用品等のうち、補助教材の一部や遠足・修学旅行費用等について公費負担を実施することにより、保護者負担の軽減を図ります。	-	-
8	「あらかわキッズ・マザーズコール24」の事業名称について、母親が子育ての中心であるというジェンダーロールの強要につながるため、事業名称を変更すべきである。	いただいた意見を踏まえ、事業名称の変更に向けて準備を進めてまいります。		137 ・ 147

9	子ども・若者を大切にするという観点からも、気候危機などの環境問題に対して力を入れてほしい。	区では、平成20年に「荒川区環境基本条例」を、令和5年に「荒川区地球温暖化対策推進条例」を制定し、気候問題をはじめとした環境問題に対して、さまざまな取組を進めてきました。また、気候変動に伴う大規模水害の発生に備え、避難場所運営訓練の実施や荒川区防災地図（水害版）を活用した区民等への避難場所、避難方法等の普及啓発等の大規模水害対策を推進するなど、防災の面からも取組を進めています。今後も、さまざまな年代の方々に、関心を持っていただき、当事者意識を持って行動していただけるような施策を行うなど、環境問題に対する取組を推進していきます。	-	-
10	第5章で示す事業の重点事業について、定量的な目標だけでなく内容や質・その取組によってどのような改善が見られたのかなどの定性的な目標の記載があるとよい。	重点目標の事業においては、数値で表すことができない目標があるものと考えており、いただいたご意見は今後計画の実施状況を点検・評価していく際の参考とさせていただきます。	-	-
11	第5章で示す事業について、どの事業をどの担当課が行っているかが分かりにくいので、示し方を工夫したらどうか。	第5章でお示ししている事業の中には、複数の所管で連携して進めている事業や、今後計画を進める中で体制を検討する事業等も含まれており、担当課を並列して記載しました。	-	-

1 2	<p>第4章第2節のニーズ調査結果において、18～39歳の対象に既婚・未婚など属性関係なくすべて含まれており、実態が見えにくい。ひきこもりの状況を問う項目についても在宅勤務や子育て中の場合なども含まれており、引き出したい情報が分からない。</p>	<p>18～39歳の若者への調査は今回初めての試みでした。次回の調査については、今回の調査で見えた課題やいただいたご意見も踏まえて質問項目や集計方法の検討を進めてまいります。</p>	-	-
1 3	<p>里親の認定について、経済的要件（一定の収入があること）を緩和してはどうか。里親の認定要件に当てはまらなかった方には、ショートステイ事業の協力家庭やフレンドホームを積極的に勧めてほしい。</p>	<p>子どもの適切な養育のためには、里親の認定にあたり一定の収入は必要であると考えています。 里親としての登録が難しい方に、協力家庭やフレンドホームなどで短期間の養育をお願いすることは、温かみのある家庭的な環境の中での養育を推進していくという観点からも重要なことであると認識しております。いただいたご意見を踏まえ、里親だけではなく、さまざまな社会的養育についてもご案内してまいります。</p>	-	-
1 4	<p>子どもの愛着が育てられるのは早ければ早いほどよい、と考える。パーマネンシー保障のためにも、里親家庭に養育を依頼する子どもの年齢の引き下げについて検討してほしい。</p>	<p>里親家庭に養育を依頼する子どもの年齢に制限はありません。今後も、パーマネンシー保障の理念に基づきながら、子どもにとっての最善となる養育先が確保されるよう努めてまいります。</p>		1 8 5

(2) 荒川区子ども・若者総合計画（素案）に対する区立小・中学校の子ども意見聴取の実施結果

募集期間

令和6年12月11日（水）～12月27日（金） 計17日間

実施方法

荒川区子ども・若者総合計画（素案）のうち、子どもに特に関係する「基本目標1」について、区立小学校5年生および区立中学校2年生の子どもから意見を聴取しました。

提出意見数

提出意見数 1,773件（人数 1,702名）

<内訳>

小学5年生 1,018件（人数 964名）

中学2年生 755件（人数 738名）

意見の概要および意見の取扱い

<小学5年生>

意見の種類		件数
素案に賛成・賛同する		491
区への期待など		34
計画全般に関する意見		93
計画の具体的な内容に関する意見	子どもの権利に関すること	124
	子どもの居場所に関すること	64
	地域との交流に関すること	11
	子育て支援に関すること	3
	公園に関すること	52
	安心・安全な街づくりに関すること	35
その他		28
特になし		83
合 計		1,018

< 小学5年生 >

意見の取扱い	件数
新たに計画へ意見を反映する	5 3
既に計画に記載している	1 8 9
ご意見・ご要望として今後の参考にする	7 7 6
合 計	1, 0 1 8

< 中学2年生 >

意見の種類		件数
素案に賛成・賛同する		3 6 5
区への期待など		1 3
計画全般に関する意見		3 0
計画の具体的な内容に関する意見	子どもの権利に関すること	8 5
	子どもの居場所に関すること	2 3
	地域との交流に関すること	5
	子育て支援に関すること	3
	公園に関すること	2 3
	安心・安全な街づくりに関すること	7
その他		8 4
特になし		1 1 7
合 計		7 5 5

< 中学2年生 >

意見の取扱い	件数
新たに計画へ意見を反映する	5 0
既に計画に記載している	7 2
ご意見・ご要望として今後の参考にする	6 3 3
合 計	7 5 5

⑤意見の概要および意見に対する区の考え方

< 計画への反映について >

：新たに計画へ意見を反映する

：既に計画に記載

- ：ご意見・ご要望として今後の参考にする

【小学5年生】

< 主な区への期待など >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	さまざまな取組を作ってくれて感謝する。いろいろな目標を作ることによって安心して生活していけると思う。	これまでも区では、みなさんが安心して過ごせるよう、さまざまな取組を行ってきました。みなさんからいただいた、区への期待などに応えられるよう、これからもしっかりと取り組んでまいります。荒川区がよりよいまちとなるためには、みなさん一人ひとりの力も必要となります。ご協力をお願いします。	-	-
2	この計画が上手いけば、子どもが荒川区に住みやすくなりよいと思う。これからの荒川区の明るい未来が増えていくことを楽しみにしている。			
3	この計画はよいと思う。子どもの未来のためにこれからも全力で取り組んでくれるとありがたい。応援している。			

< 主な計画全般に関する意見 >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	このような計画があることを初めて知った。荒川区子ども・若者総合計画を知ってもらうために、ポスターを作ったり、図書館に置くなどして、さまざまな年齢の方に知ってもらうとよいと思う。	これまでも区では、みなさんが安心して過ごせるよう、さまざまな取組を行ってきましたが、お知らせが十分ではなかったことがみなさんからのご意見で分かりました。今回いただいたご意見を踏まえ、荒川区子ども・若者総合計画については、ゆいの森あらかわや区立図書館に置いたり、区ホームページに載せたりして、区民のみなさんに見ていただけるようにします。 荒川区がよりよいまちとなるよう区も頑張りますので、みなさんもお協力をお願いします。	-	-
2	知らないところで大人が子どものために助けたり、サポートしてくれていて、子どもが安全に暮らせるようにしてくれていることを初めて知った。感謝している。			
3	区が、子どもが楽しく過ごせるように、嫌な気持ちにならないように考えてくれている事を初めて知った。感謝している。			
4	区が、子どものことをよく考えて安全に過ごせるようにしてくれているのだと知ってうれしかったし、とても心強いと思った。			
5	区が、子どものことをすごく考え、安全・安心のことなどを考えていてうれしかった。			

<子どもの権利に関すること>

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	子どもに関することについて、子どもの意見を聞くことはよいと思うので、今後も、子どもへアンケートするなどして、意見を聴いてほしい。 【ほか、1件】	区では、子どもの意見を聴いて、区の取組に生かしていくために、子ども議会や子どもの意見聴取について、よりよい方法を検討してまいります。		135
2	子どもの権利を知ってもらうために、ポスターなどを作るとよいと思う。 【ほか、47件】	区では、子どもの権利について、これまで、リーフレットやパネル展、イベントなどのさまざまな方法により、お知らせしてまいりました。いただいたご意見を踏まえ、新たにポスターを作成するなど子どもの権利を知るために、よりよい方法を検討してまいります。		129
3	子どもの権利について、ゆいの森やリサイクルセンターなどの区の施設を活用してスタンプラリーなどを行ったらよいと思う。	区では、子どもの権利について、リーフレットやパネル展、イベントのほか、区報や区ホームページ、SNSなどを活用し、お知らせしてきました。スタンプラリーなどいただいたご意見も含め、子どもの権利を知る機会や考える機会について、検討してまいります。		129
4	子どもの権利について、区報Jr.に掲載し、知ってもらうのはどうか。	区では、区報Jr.令和5年11月号で子どもの権利の特集記事を掲載し、子どもの権利についてお知らせしました。 今後も、区報Jr.を含めたさまざまな区のお知らせを活用して、子どもの権利について知る機会や考える機会をつくってまいります。		129

5	子どもの権利について知らなかったのもので、子どもの権利についての授業があるとよいと思う。	区で独自に作成している中学校社会科副読本に、令和6年度から「荒川区子どもの権利条例」を掲載し、授業で子どもの権利について学習できるようにしています。また、小学校の社会科副読本には、令和7年度以降に掲載する予定です。	-	-
6	年齢関係なく、人権について学べる機会などがあればよいと思った。	区では、子ども・若者向けの取組として、小中学生を対象とした人権教室等を行うほか、すべての方を対象とした「みんなで考える人権講座」を実施しており、今後も、多くの方に人権について知る機会をつくってまいります。		127 ・ 130 ・ 131
7	いじめや虐待等がないように、展示会などで啓発を図るほか、子ども自身が相談しやすいような環境整備等を行うことで、被害にあっている子の早期発見・支援策に力を入れてほしい。 【ほか、4件】	区では、いじめや虐待等がないように、子どもの権利についてのリーフレットやパネル展等による啓発活動を行っています。また、困りごとや悩みごとについて、電話やメール、SNSで相談できる窓口の設置や各学校でのスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの連携による課題解決に向けた支援など、子どもが相談しやすい環境の整備や被害にあっている子どもの早期発見・早期対応に取り組んでおり、引き続き、いじめや虐待の未然防止や支援の強化を進めてまいります。		136 ・ 137

8	<p>悩みごとや困りごとについて、LINEなどのSNSやメールで相談できるとよいと思う。</p> <p>【ほか、4件】</p>	<p>区では、子どもや若者の困りごとや悩みごとについて、LINEなどのSNSやメール等によるさまざまな相談窓口を開設してきましたが、みなさんのご意見を踏まえ、この計画に子どもの相談窓口一覧を掲載しました。</p> <p>困っていること、悩んでいることがあれば、一人で悩まずに、気軽に相談してください。</p>		302 ~ 304
9	<p>子どもが困ったり、悩んだりした際の相談について、スマホをもっていない子でも相談できるような工夫が必要なのではないか。</p> <p>【ほか、6件】</p>	<p>各区立小中学校・幼稚園等では、スクールカウンセラーや教職員がみなさんとの良好な人間関係を築き、直接会うことでも安心して相談に来られるような環境づくりに努めています。子ども家庭総合センターやひろば館等にいる職員に気軽に相談してください。</p>	-	-
10	<p>具体的にどのようなことが虐待やいじめにあたり、どのように防ぐのか詳しく学べる機会があるとよいと思う。 【ほか、5件】</p>	<p>区では、区報や区ホームページ、パネル展等による虐待予防の啓発活動を行っています。その際には、具体例も含めて確認できるよう工夫しています。また、すべての区立小中学校では、定期的にいじめのアンケートを実施したり、いじめ防止のための授業を行っており、引き続き、いじめや虐待をなくすための取組を進めていきます。</p>	-	-

1 1	<p>保護者からの虐待を防ぐためにも、保護者のカウンセリングなどが行えたらよいと思う。また、その他の虐待の原因も調べ、その原因を解決するための支援を行うとよいと思う。</p>	<p>保護者による児童虐待の一因に、保護者の心の状態が不安定であること等が考えられることから、区では、小さな子どもがいるご家庭への訪問や電話・面接による相談支援などにより、保護者の心のケアを行っています。また、虐待相談等の際には、保護者の面談を行い、必要な支援につなげるなど、原因の解決につなげています。引き続き、いじめや虐待の未然防止に努めてまいります。</p>		<p>1 4 6 ・ 1 4 7</p>
1 2	<p>区の施設に、子どもや大人がいつでも相談できる場所があると思う。 【ほか、24件】</p>	<p>各区立小中学校・幼稚園等では、スクールカウンセラーや教職員がみなさんとの良好な人間関係を築き、安心して相談に来られるような環境づくりに努めています。</p> <p>そのほかに区では、学校や家庭での子どもの困りごとなどに専門家が電話やメールで相談のり、解決の手助けを行う「あらかわ子どもほっとらいん」や、悩みを抱える若者がメールやLINEなどで気軽に相談できる窓口「わか」、ふれあい館などで相談できる「出張わか」、子ども家庭総合センターなど、さまざまな相談窓口を開始しています。この計画にも子どもの相談窓口一覧を掲載していますので、ご確認ください。</p> <p>今後も引き続き、いつでも相談できる環境づくりを進めてまいりますので、困ったり、悩んでいる場合は、ぜひ区施設の職員に相談してください。</p>		<p>1 3 7 ・ 1 9 8 ・ 3 0 2 ～ 3 0 4</p>

1 3	<p>学校などで、月1回アンケートを実施するなど、子どもの悩みを打ち明けられる環境があるとよいと思う。 【ほか、1件】</p>	<p>困ったり、悩んでいる子どもが相談できるように、すべての区立小中学校で定期的にアンケートを実施していますが、今後、教育タブレットから子どもの相談窓口を直接確認できるようにするなど、より子どもが相談しやすい環境を整えてまいります。</p>	-	-
1 4	<p>困ったり、悩んでいる子どもが相談できるように、学校に1つ、意見箱を設置したらよいと思う。 【ほか、2件】</p>	<p>また、この計画にも子どもの相談窓口一覧を掲載していますので、困っていること、悩んでいることがあれば、一人で悩まずに、気軽に相談してください。</p>		
1 5	<p>スクールカウンセラーのことを知らない人が多いと思うので、お知らせを行った方がよいと思う。 【ほか、1件】</p>	<p>スクールカウンセラーは現在、各区立小中学校を週2回および幼稚園・こども園を月1回定期巡回し、子どもや保護者の面談等によるさまざまな教育相談対応を行っています。</p> <p>区ホームページや教育相談の案内しおりのほか、学校だより等でスクールカウンセラーについてお知らせするとともに、みなさんが安心して相談しやすい環境づくりにも努めてまいります。</p>	-	-
1 6	<p>学校に、いつでも相談できるよう、スクールカウンセラーや相談室を増やした方がよいと思う。 【ほか、13件】</p>	<p>スクールカウンセラーは現在、各区立小中学校を週2回および幼稚園等を月1回定期巡回し、電話や対面、オンラインにより、子どもや保護者からの相談体制を整えています。</p> <p>また、子どもが安心して相談ができるよう、各区立小中学校・幼稚園等では相談室の雰囲気づくりやスペースの確保等を行っており、今後も、安心して相談しやすい居場所づくりに努めてまいります。</p>	-	-

<子どもの居場所に関すること>

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	いじめや虐待にあった子どもが逃げられたり、隠れられたりして、安心して過ごせる施設があるとよいと思う。 【ほか、2件】	区には、虐待などを受けている子どもが安全に家へ帰れるようになるまでの間、安心して生活できる区の施設があります。	-	-
2	学校の中に、ゆっくり過ごせたり、自習できたりする場所があるとよいと思う。 【ほか、2件】	各区立小中学校の中には教室以外にも学校図書館や相談室などをはじめ、みなさんの状況に応じて落ち着いて過ごせる空間を各校が工夫して用意していますので、先生とも相談しながら安心して活用してください。	-	-
3	友達と時間を過ごせる場所で、社交性や協働力を高められる経験ができるとよい。	子どもが集まり交流する場として、子どもの居場所があります。子どもの居場所では友達、地域の方々やボランティアの方々との交流を通じて、社交性等を高める経験ができる機会を設けています。子どもの居場所について知りたい時は、まずは、区ホームページでご確認ください。		177
4	いろいろな体験や学習ができたり、友達と遊べたりする、安心して過ごせる場所がたくさんあるとよいと思う。 【ほか、33件】	区には、放課後などに安心して過ごせる場所として、さまざまな遊びや制作体験等ができるようプログラムを実施しているひろば館やふれあい館があります。居場所として利用したいときには、いつでも来館してください。また、にこにこすくーも放課後に友達と一緒に遊ぶことができます。ぜひ、ご利用ください。		122 ～ 125

5	<p>ゆっくりできたり、考え事ができるなど、安心して過ごせる居場所が増えると思う。</p> <p>【ほか、１４件】</p>	<p>ひろば館やふれあい館は０～１８歳までの子どもがいつでも来館できる施設です。来館した子どもが安心して安全に過ごせるよう、ゆったりと過ごせる場所など環境を整えています。</p> <p>また、区立図書館でも、ゆっくりと読書等が楽しめるスペースがありますので、ぜひご利用ください。</p>		1 2 5
6	<p>スポーツ施設を大人だけでなく、子どもも利用できるようにしてほしい。</p> <p>【ほか、５件】</p>	<p>スポーツ施設につきましては、トレーニングルームを除き、子どもも利用できます。また、さまざまな子ども向けスポーツ教室も行っており、多くの子どもにご参加いただいています。</p> <p>今後も引き続き、子どもたちもご利用いただきやすいスポーツ施設となるよう努めてまいります。</p>		1 2 5 ・ 1 6 2
7	<p>図書館について、幼稚園児から高校生までの欲しい本のアンケートなどを実施すれば来る機会が増えると思う。</p>	<p>区立図書館では、イベントなどの機会を生かした欲しい本のアンケートの実施を検討してまいります。また、漫画や雑誌など、対象にならないものもありますが、本のリクエストも受け付けています。区立図書館ホームページが貸出カウンターでお申し込みください。</p>	-	-
8	<p>図書館に本を読めるスペースをもっと増やしてほしい。</p>	<p>区立図書館では、大規模改修など大幅なレイアウト変更の際に、スペースの工夫やいすを増やすことで、本を読めるスペースの確保に努めております。</p>	-	-

< 地域との交流に関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	多世代の人や区内の他の地域の人と交流できる場所やイベントなどがあるとうれしい。 【ほか、7件】	区では、ふれあい館で、多世代が交流することができるおまつりイベントを実施しているほか、地域のイベントに参加し、地域の方々と交流しています。また、キャンプ等の自然体験や、科学実験やモノづくり等の体験ができる教室、スポーツイベントなど、他の世代の方との交流や学校以外の友達づくりのきっかけにもなるイベントも開催しています。今後も、区報や区ホームページ、SNS等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。		122 ～ 125 ・ 162
2	外国人と交流する機会を増やしてほしい。	区では、荒川区国際交流協会と連携し、日本人と在住外国人が交流できるさまざまなイベント等を開催しています。今後も、イベントをお知らせし、より多くの子どもたちにも参加いただけるよう工夫してまいります。		127
3	体験行事などがたくさんあると地域の人と交流を深められてよいと思う。	中高生を対象としたキャンプ等の自然体験や、科学実験やモノづくり等の体験ができる教室等、他の世代の方との交流や学校以外の友達づくりのきっかけにもなるイベントを実施しています。また、あらかわの伝統技術展、荒川区文化祭等の伝統文化や芸術に触れることができるイベントも開催しています。今後も、区報や区ホームページ、SNS、スクリレ等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。		123 ～ 125

4	学校や社会科見学でいろいろな人と交流できる機会を作ったらどうか。	各学校では、主に「生活科」「社会科」「総合的な学習の時間」等において、地域のことを調べたり、地域の方との交流を図っています。また社会科見学では、社会科の学習内容と関連する区内外の施設を見学するなど、実感をもった学びの機会をつくっています。	-	-
---	----------------------------------	---	---	---

< 子育て支援に関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への反映	該当ページ
1	若くして子育てをしている家庭への支援を行った方がよいと思う。	区では、小さな子どもがいる家庭への訪問や電話・面接による相談支援などにより、若い方も含めてすべての保護者に対して、子育てに関する支援を行っています。今後も、子育てへの不安や悩みの解消や、保護者が必要とする子育て支援へつなげる取組を行ってまいります。		144 ～ 160
2	障がいがある子どもやその家族のために、子どもやその家族への支援をすればよいと思う。	区では、たんぼぼセンターでの子どもの発達に関するさまざまな支援や、ご家庭に看護師を派遣して子どもやその保護者の負担を軽減するなど、さまざまな取組を行っております。引き続き、家族のお世話をする子どもの支援を含め、子どもやその保護者が安心して生活できるよう取り組んでまいります。		170 ・ 172 ～ 174 ・ 176

3	子どもの面倒を見てくれたり、子ども同士や、子育て中の保護者が交流できる場所があると、保護者もゆっくりできてよいと思う。	区内に24か所ある子育て交流サロンでは、0歳から概ね3歳までの乳幼児とその保護者同士の交流とつながりを持つ場となっています。また、子育て交流サロンや保育園の一部では、一時預かりや一時保育を実施しており、両親のリフレッシュ等にも利用されていますので、ぜひご利用ください。		157
---	---	--	--	-----

< 公園に関する事 >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への反映	該当ページ
1	自然や緑に囲まれた公園などを増やしてほしい。【ほか、8件】	区では、「荒川区みどりの保護育成条例」に基づいて自然や緑がふれるまちづくりを進めており、近年では、宮前公園を新たに整備し、自然を身近に感じられる場所として、多くの区民の方に親しまれています。 今後も、みなさんが日常生活の中で自然を感じることができるよう、南千住や町屋にも新たに大きな公園を整備するなど、これからも自然や緑の確保に努めてまいります。		162

2	<p>公園について、ボールが使えるなどの規制緩和や遊具の増加、トイレの整備をしてほしい。</p> <p>【ほか、４２件】</p>	<p>公園には、小さな子どもからお年寄りまで、さまざまな方が利用するため、安全に利用できるようルールを設けています。一方で、なるべく自由に公園を利用できるよう、区では、安全にボール遊びができる場所の整備やプレーパークの開催など、今後も、安全を確保しながら、検討してまいります。</p> <p>また、トイレの整備についても、トイレを洋式化するなど、きれいで使いやすいトイレを整備していきます。</p>		162
---	--	---	--	-----

< 安心・安全な街づくりに関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	ごみのポイ捨てやごみ箱の設置、 街路灯の設置など、子どもが安全 に暮らせるように環境を整備し てほしい。 【ほか、２５件】	公園や児童遊園においては、日常 的に家庭ごみが捨てられ、ごみが 溢れ出してしまう場所があるため、 ごみ箱については、設置が難しい 場所があります。 また、夜間の安全な通行と防犯対 策のために、各地域の町会や警察 の協力を得て、暗い場所には街路 灯の増設を行うなどの取組を行 ってきました。もし、暗い場所が ありましたら、家族の人に伝え、 区に連絡するようお願いしてく ださい。		162
2	「１１０番の家」の掲示が小さ く、不審者等に困ったときに気づ きにくい。	「１１０番の家」の担当である警 察署にもご意見をお伝えします。 また、区には黄色い丸型のステッ カーが目印の「わがまちあんしん １１０番」という危険を感じた際 に避難ができる場所があります。 このステッカーについては、これ までも、より分かりやすい表示と するために、大きさやデザインを 変更してきました。 今後も、いただいたご意見を参考 とさせていただきながら、検討し てまいります。	-	-

3	<p>区内で安全に過ごせるよう、不審者などの防犯対策をしてもらいたい。 【ほか、5件】</p>	<p>これまで、区内の警察署と教育委員会、区で話し合い、危険な場所や犯罪が発生しやすい場所に計画的に防犯カメラを設置してきました。今後も、防犯カメラの設置を推進します。</p> <p>さらに区では、青色灯を付けたパトロールカー5台が、児童・学童の下校時間帯に合わせて通学路や公園、駅周辺のにぎやかな場所、犯罪が多く起こっている場所や区民から不安の声をいただいた場所について、巡回を強化するなどの対策を行っています。</p>		163
4	<p>道幅が狭く、緊急車両が通りにくい道があるので、道路を拡張してほしい。 【ほか、1件】</p>	<p>区内には比較的狭い道路が多く緊急車両が通行しにくいことから、区では消防活動が困難な区域における道幅6メートル未満の道路を「優先整備路線」に指定し、土地を少しずつ買い取りながら、道幅の拡張に取り組んでいます。</p> <p>今後緊急車両が通行しやすく、安全な道路となるよう、計画的に道幅の拡張に取り組んでいます。</p>	-	-

< その他 >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	子どもの学力向上に力を入れてほしい。	<p>区では、学力向上のため、小学校低学年を対象とした算数・国語の授業支援、デジタルドリルコンテンツを活用した学習、あらかわ寺子屋、中学校第1学年を対象に夏季休業中に実施している補習事業等を実施しています。</p> <p>教員に対しても、日常の授業改善に生かせる研修会等を実施し、授業の質を高めるように努めています。</p> <p>引き続き、子どもたちの学力向上に向けて、さまざまな取組を充実させます。</p>	—	—
2	戦争語り部などで人から聞いたり、平和について考える機会が欲しい。また、学校の図書館に戦争、平和、人権、差別、SDGsなど、世界の状況を知れる本を増やしてほしい。	<p>区立小中学校では語り部を招いた講演会を実施したり、平和教育の一環として、広島への修学旅行を実施した学校があります。</p> <p>平和学習としては、社会科等で戦争に関する学習をする際、すべての区立小中学校で子どもたちが考えています。</p> <p>また、学校図書館では、子どもたちの学習活動における思考力・判断力・表現力等の育成のために、学校司書や教員が連携して幅広い分野にわたって選書を行っています。</p>	—	—

3	<p>学校の施設（校舎、体育館、トイレ）をきれいにしてもらいたい。</p> <p>【ほか、１件】</p>	<p>校舎、体育館、トイレ等の改修・修繕については、これまでも計画的に改修等を実施してまいりました。また、トイレの改修についても、洋式化について早期に取り組むなど、改善を図ってきたところです。</p> <p>今後も、児童・生徒のみなさんが安全・安心に学校生活を送れるよう環境整備に努めてまいります。</p>	—	—
4	<p>防災の学習をして、防災グッズや備蓄品の充実を図ってほしいと思った。</p> <p>【ほか、１０件】</p>	<p>区では、これまでの経験も踏まえながら、防災備蓄倉庫の設置や備蓄物資の保管スペース、備蓄品のさらなる充実を計画的に行っており、引き続き、みなさんが安心して生活できるよう努めてまいります。みなさんのご家庭でも、いざというときに備えた準備をしていただければ幸いです。</p>	—	—
5	<p>ショッピングモールなどの商業施設があるとよい。</p> <p>【ほか、１２件】</p>	<p>これまで区では、駅前の再開発により、南千住駅前などに大型商業施設が整備されているほか、今後も、西日暮里駅前に大型商業施設が整備される予定です。また、再開発以外では、広い土地がないのが現状ですが、今後、広い空き地ができた場合は、民間事業者が大型商業施設を検討する可能性はあります。</p>	—	—

【中学2年生】

< 主な区への期待など >

No.	意見の概要	回答（区の方考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	子どもを中心とした政策が多く、安心して暮らせるようにという思いを感じることができる計画だった。これからどう変わるのか楽しみである。	これまでも区では、みなさんが安心して過ごせるよう、さまざまな取組を行ってきました。みなさんからいただいた、区への期待などに応えられるよう、これからもしっかりと取り組んでまいります。荒川区がよりよいまちとなるためには、みなさん一人ひとりの力も必要となります。ご協力をお願いします。	-	-
2	この計画通りになったら、とてもよいまちづくりができるようになると思う。応援している。頑張っている。			
3	素晴らしい計画だと思う。荒川区がもっとよい街になると思う。一緒に頑張っていきたい。			

< 主な計画全般に関する意見 >

No.	意見の概要	回答（区の方考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	区がこのような取組をしていることを知らなかったのびびっくりした。取組がたくさんあってすごくよい計画だなと感じた。	これまでも区では、みなさんが安心して過ごせるよう、さまざまな取組を行ってきました。みなさんからいただいた、区への期待などに応えられるよう、これからもしっかりと取り組んでまいります。荒川区がよりよいまちとなるためには、みなさん一人ひとりの力も必要となります。ご協力をお願いします。	-	-
2	この計画を読んで、若者や子どもが安心して過ごせるようにしてくれていることを知り、荒川区の思いが伝わってきた。これからの荒川区がもっとよくなるよう私も少し考えてみようと思った。			
3	区が子どもや子育てをしている人に対するさまざまな取組をしているのを知らなかったのび、このような取組があるのはとてもよいと思ったので、周りの人にも知ってもらふことも必要だと思った。			

<子どもの権利に関すること>

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	子どもの権利について知らなかった。区営掲示板や施設にポスターを貼ったり、区ホームページなどに掲載し、お知らせしたらよいのではないか。【ほか、37件】	区では、子どもの権利について、これまで、リーフレットやパネル展、イベントなどのさまざまな方法により、お知らせしてまいりました。いただいたご意見を踏まえ、新たにポスターを作成するなど子どもの権利を知るために、よりよい方法を検討してまいります。		129
2	子どもの権利について知らなかったので、子どもの権利についての授業があるとよいと思う。 【ほか、11件】	区で独自に作成している中学校社会科副読本に、令和6年度から「荒川区子どもの権利条例」を掲載し、授業で子どもの権利について学習できるようにしています。また、小学校の社会科副読本には、令和7年度以降に掲載する予定です。	-	-
3	子どもの権利を大切にするためには、子どもの周りにいる大人へもお知らせした方がよいと思う。	区では、子どもの権利について、これまで、リーフレットやパネル展、イベントなどのさまざまな方法により、お知らせしてまいりました。今後も、あらゆる年代のみなさんに向けて、子どもの権利について知る機会や考える機会をつくってまいります。		129
4	悩みごとや困りごとについて、LINEなどのSNSやメールで相談できるとよいと思う。 【ほか、10件】	区では、子どもや若者の困りごとや悩みごとについて、LINEなどのSNSやメール等によるさまざまな相談窓口を開設してきましたが、みなさんのご意見を踏まえ、この計画に子どもの相談窓口一覧を掲載しました。 困っていること、悩んでいることがあれば、一人で悩まずに、気軽に相談してください。		302 ～ 304

5	<p>悩んだり、困ったりしたときに、話を聞いてくれる、解決方法を一緒に考えてくれる、相談者が解決できなさそうなら代わりに解決してあげるなどの取組があるといいと思う。</p>	<p>区では、子どもの権利擁護相談事業「あらかわ子どもほっとらいん」を開設し、学校や家庭での子どもの困りごとなどについて、専門家が電話やメールで相談に乗り、解決の手助けを行っているほか、学校でもスクールソーシャルワーカーによる解決の手助けを行っています。</p> <p>そのほかにも、子どもや若者の困りごとや悩みごとについて、さまざまな相談窓口を開設しています。</p> <p>この計画にも子どもの相談窓口一覧を掲載していますので、困っていること、悩んでいることがあれば、一人で悩まずに、気軽に相談してください。</p>	<p>1 3 6 ・ 1 3 7 ・ 3 0 2 ~ 3 0 4</p>
6	<p>いじめや、人間関係に困ったときに直接相談できるよう、スクールカウンセラーが必要だと思う。</p> <p>【ほか、1件】</p>	<p>各区立小中学校・幼稚園等には、子どもが困ったり、悩んだりした際に、直接相談できるようスクールカウンセラーを配置しており、みなさんとの良好な人間関係を築き、安心して相談に来られるような環境づくりに努めています。</p>	<p>1 3 6 ・ 1 3 7 ・ 1 9 8 ・</p>
7	<p>困ったことや悩みごとについて、スクールカウンセラーなどに気軽に相談できる環境があると思う。</p> <p>【ほか、14件】</p>	<p>学校だより等で案内していますので、困ったり、悩んだりした際は、一人で悩まずに、気軽に相談してください。</p>	<p>3 0 2 ~ 3 0 4</p>

8	相談や困ったことを聞いてくれるカウンセリングルームを作ったらよいと思う。	子どもが安心して相談ができるよう、各区立小中学校・幼稚園等では相談室の雰囲気づくりやスペースの確保等を行っており、今後も、安心して相談しやすい場となるよう努めています。	-	-
9	困ったり、悩んでいる子どもが相談できるように、学校に1つ、意見箱を設置したらよいと思う。 【ほか、1件】	困ったり、悩んでいる子どもが相談できるように、すべての区立小中学校で定期的にアンケートを実施していますが、今後、教育タブレットから子どもの相談窓口を直接確認できるようにするなど、より子どもが相談しやすい環境を整えてまいります。 また、この計画にも子どもの相談窓口一覧を掲載していますので、困っていること、悩んでいることがあれば、一人で悩まずに、気軽に相談してください。	-	-
10	いじめや虐待から子どもを守るために、保護者と学校の先生が直接話し合える機会が増えるとういと思う。	各学校では保護者会や個人面談だけでなく、土曜授業日を実施したり、道徳授業地区公開講座を実施し、保護者のみなさんに学校の様子を知ってもらうとともに、保護者のみなさんと教職員が話し合いをする機会を設けています。	-	-

1 1	いじめや虐待されていて相談しにくい人がいるかもしれないからもっと相談しやすい環境をつくってほしい。	<p>すべての区立小中学校で定期的にアンケートを実施したり、困ったことや悩みを信頼できる大人に相談することができるよう、S O S の出し方教育を全学年で実施したり、悩みを聞く体制を整えています。また、今後、教育タブレットから子どもの相談窓口を直接確認できるようにするなど、より子どもが相談しやすい環境を整えてまいります。</p> <p>この計画にも子どもの相談窓口一覧を掲載していますので、困っていること、悩んでいることがあれば、一人で悩まずに、気軽に相談してください。</p>	-	-
-----	---	--	---	---

<子どもの居場所に関すること>

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	いじめや虐待にあった子どもが一時的にでも安心して過ごせる施設があるとよいと思う。 【ほか、１件】	区には、虐待などを受けている子どもが安全に家へ帰れるようになるまでの間、安心して生活できる区の施設があります。	-	-
2	子どもが安心して過ごせて、子ども同士で勉強や友人関係の悩みなどの共有・解決ができる場所があるとよいと思う。 【ほか、１４件】	区では、あらゆる世代の区民が交流し、自主的な活動ができる場所としてふれあい館を運営しています。ふれあい館では勉強したり、友人とお話することができ、サロンスペースなどがあります。また、ひろば館やふれあい館は０～１８歳までの子どもがいつでも来館できる施設です。来館した子どもが安心して安全に過ごせるよう、体を動かせる場所、ゆったりと過ごせる場所など環境を整えています。相談に関する資格を持った職員がいますので気軽にお声がけください。		125
3	ひろば館などのイベントのほかに、もっとさまざまなイベントがあるとよいと思う。 【ほか、２件】	中高生を対象としたキャンプ等の自然体験や、科学実験やモノづくり等の体験ができる教室等、他の世代の方との交流や学校以外の友達づくりのきっかけにもなるイベントを実施しています。また、あらかわの伝統技術展、荒川区文化祭等の伝統文化や芸術に触れることができるイベントも開催しています。今後も、区報や区ホームページ、SNS等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。		123 ～ 125

4	子ども食堂があるとよいと思う。	区内には食事を提供する子どもの居場所や子ども食堂が各地区にあります。子どもの居場所や子ども食堂について知りたい時は、まずは、区ホームページでご確認ください。		177
5	スポーツができる施設を増やしてほしい。【ほか、1件】	区では、あらかわ遊園スポーツハウスの改修を計画しており、新たにスポーツができるスタジオを設ける予定です。また、三河島駅前北地区の再開発における体育館機能を持つ多目的アリーナの整備や、今後隅田川沿いに整備を予定している町屋公園には屋外スポーツ施設を整備するなど、スポーツができる場所、施設を増やしてまいります。		162 ・ 200

< 地域との交流に関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への反映	該当ページ
1	他の中学校の生徒や多世代と交流を持てるイベント等があるとよいと思う。【ほか、3件】	<p>ひろば館やふれあい館では各館で活動している子ども同士の交流を深めるために、交流フェスタを実施しています。また、各館では来館している子ども同士が交流できるイベントを多数実施しています。</p> <p>さらに中高生を対象としたキャンプ等の自然体験や、科学実験やモノづくり等の体験ができる教室等、他の世代の方との交流や学校以外の友達づくりのきっかけにもなるイベントを実施しています。</p> <p>今後も、区報や区ホームページ、SNS等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。</p>		123 ・ 125 ・ 194

2	外国の生活習慣やイベント等について、体験できる機会があると思う。	区では、荒川区国際交流協会と連携し、日本人と在住外国人が交流できるさまざまなイベント等を開催しています。今後も、イベントをお知らせし、より多くの子どもたちにも参加いただけるよう工夫してまいります。		127
---	----------------------------------	--	--	-----

<子育て支援に関すること>

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への反映	該当ページ
1	子どもの面倒を見てくれたり、子ども同士や、子育て中の保護者が交流できる場所があると、保護者もゆっくりできてよいと思う。	区内に24か所ある子育て交流サロンでは、0歳から概ね3歳までの乳幼児とその保護者同士の交流とつながりを持つ場となっています。また、子育て交流サロンや保育園の一部では、一時預かりや一時保育を実施しており、両親のリフレッシュ等にも利用されていますので、ぜひご利用ください。		157 ・ 158
2	子どもが体調不良のときには保護者が看病してくれるが、仕事を休みづらい環境にある場合もあるので、子どもだけでなく、保護者への支援も力を入れてもらいたい。	これまで区では、仕事と子育てを両立する家庭をはじめ、さまざまな家庭が安心して出産・子育てができるよう、さまざまな理由で一時的に育児援助を受けたい保護者を援助するためのヘルパー派遣や子どもを一時的に預かったりするなどの支援に取り組んでまいりました。今後も、子育て家庭が必要とする支援を行えるよう、子育て支援のさらなる充実を図ってまいります。		144 ～ 160
3	子どもだけでなく、子どもを育ててくれている大人への支援もあると思う。			

< 公園に関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	公園について、ボールが使えるなどの規制緩和や安全に遊べる遊具の設置、トイレの整備をしてほしい。 【ほか、２２件】	公園には、小さな子どもからお年寄りまで、さまざまな方が利用するため、安全に利用できるようルールを設けています。一方で、なるべく自由に公園を利用できるよう、区では、安全にボール遊びができる場所の整備やプレーパークの開催など、今後も、安全を確保しながら、検討してまいります。 また、トイレの整備についても、トイレを洋式化するなど、きれいで使いやすいトイレを整備していきます。		162

< 安心・安全な街づくりに関すること >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への 反映	該当 ページ
1	交通安全や災害対策について体験できる機会があるとよいと思う。	区では、荒川警察署と連携し荒川自然公園交通園で実施している「自転車安全利用講習会」や区役所分庁舎に設置している安全・安心スポットにおいて、交通ルールを学ぶ機会をつくっています。 また、災害対策について、各町会では、消防署も参加するなどした防災訓練や避難所の訓練が行われており、区においても、子どもから大人まで防災に関する知識や技術を学べる「あらBOUSA I」などを開催しています。 今後も区報や区ホームページ、SNS等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。	-	-

2	道幅が狭く、緊急車両が通りにくい道があるので、道路を拡張してほしい。 【ほか、 3 件】	区内には比較的狭い道路が多く緊急車両が通行しにくいことから、区では消防活動が困難な区域における道幅 6 メートル未満の道路を「優先整備路線」に指定し、土地を少しずつ買い取りながら、道幅の拡張に取り組んでいます。今後緊急車両が通行しやすく、安全な道路となるよう、計画的に道幅の拡張に取り組んでいます。	-	-
3	学校や部活の帰りに子どもが被害にあわないよう、防犯対策をしてほしい。 【ほか、 1 件】	これまで、区内の警察署と教育委員会、区で話し合い、危険な場所や犯罪が発生しやすい場所に計画的に防犯カメラを設置してきました。今後も、防犯カメラの設置を推進します。 さらに区では、青色灯を付けたパトロールカー 5 台が、児童・学童の下校時間帯に合わせて通学路や公園、駅周辺のにぎやかな場所、犯罪が多く起こっている場所や区民から不安の声をいただいた場所について、巡回を強化するなどの対策を行っています。		1 6 3

< その他 >

No.	意見の概要	回答（区の考え方）	計画への反映	該当ページ
1	荒川区の中学校の生徒同士で話し合える機会があると、他の学校の子どもとの交流が図れ、何かの解決や課題の発見につながるのではないかと思う。	生徒同士の交流は生徒の成長にとって重要な要素であり、共通の課題の解決につながる可能性があります。よりよい交流活動のあり方を各区立中学校と連携して検討するなどして、みなさんの成長を支援してまいります。	-	-

2	学校の授業で校外学習を増やし、自然に触れる機会を増やしてほしい。	区立中学校では、第1学年で清里移動教室、第2学年で下田移動教室を全校で実施し、登山やオリエンテーション等を通じて、自然に触れる体験学習の機会を積極的に設けています。今後も、自然体験学習の充実を図ってまいります。	-	-
3	教育タブレットの性能やインターネットへの接続環境を改善してほしい。【ほか、11件】	児童・生徒用タブレットパソコンについては、令和7年4月に性能を改善したタブレットパソコンに更新予定です。タブレットパソコンの更新に合わせてネットワーク機器を更新し、通信環境の向上を図ってまいります。	-	-
4	学校の施設（校舎、体育館、トイレ）をきれいにしてもらいたい。【ほか、31件】	校舎、体育館、トイレ等の改修・修繕については、これまでも計画的に改修等を実施してまいりました。また、トイレの改修においては、洋式化について早期に取り組むなど、改善を図ってきたところです。 今後も、児童・生徒のみなさんが安全・安心に学校生活を送れるよう環境整備に努めてまいります。	-	-
5	災害時の避難場所になるため、校舎の老朽化について検討した方がよいと思う。【ほか、3件】	学校施設については、令和7年度に「学校施設建替え計画」の策定を予定しており、築年数の経った建物は計画的に建替えを実施するなど、現在、策定に係る調査・検討を行っているところです。 学校施設は災害時の避難所としての機能を有しており、建替えに当たっては、必要な設備等の整備について、防災担当部署とも連携しながら進めてまいります。	-	-

6	<p>有名店舗やショッピングモールなどの商業施設があるとよい。</p> <p>【ほか、３３件】</p>	<p>これまで区では、駅前の再開発により、南千住駅前などに大型商業施設が整備されているほか、今後も、西日暮里駅前に大型商業施設が整備される予定です。また、再開発以外では、広い土地がないのが現状ですが、今後、広い空き地ができた場合は、民間事業者が大型商業施設を検討する可能性があります。</p>	-	-
---	---	--	---	---